

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 佐藤英人	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>○教育上の成果に関する事項</p> <p>本年度は、初年次ゼミ (3 クラス)、グループ研究、都市地理学、都市経営論、都市再開発論を担当した。学生が予習できるように、毎回、レジュメを Dropbox で事前配布するように努めた。授業中はパワーポイントを利用して、図表や写真を提示するなど、できるだけイメージのしやすい授業運営を心がけた。その結果、「授業に関する学生アンケート (前期)」において、都市地理学 (履修者 243 名) の総合評価は 87.9 点、初年次ゼミ (履修者 10~12 名) の総合評価は 85.5~92.0 点となり、大学全体の平均点 (81.3 点) を大きく上回った。特に教員の熱意と話し方の項目で高い評価を得た。</p> <p>2 年生のゼミ内定生を対象としてサブゼミを実施した (隔週火曜日 5 時限)。サブゼミでは学生の興味関心に基づいて、リチャード・フロリダ 2009『クリエイティブ都市論』, ダイヤモンド社, 320p を輪読した。本書で言及されている Mega Region の一部である東京都心を理解するため、11 月 9 日に巡検 (東京駅~丸の内~有楽町~日比谷~国会議事堂~赤坂~四谷) を主催した。東京都心部の都市開発の実情を知ることができ、大変有意義な巡検となった。</p> <p>○研究上の成果に関する事項</p> <p>1) 著書・学術論文等</p> <ul style="list-style-type: none">・佐藤英人 2014「情報通信技術の発達によるオフィスの郊外立地—その意義と課題」, 地理科学 69(3), 25-37・佐藤英人 2014「学界展望: 都市」, 人文地理 66(3), 66-69・佐藤英人 2014『よくわかる都市地理学』, 藤井正・神谷浩夫編著 (担当:分担執筆, 範囲:都心の変化 (V章 3) および丸の内の変化 (コラム 19)), 142-145, ミネルヴァ書房 <p>2) 学会発表等</p> <ul style="list-style-type: none">・佐藤英人「人口減少時代を迎えて選別される郊外住宅地—「夢のマイホーム」に潜む新たな問題」, 日本地域政策学会第 13 回全国研究大会, 2014 年 7 月 13 日・佐藤英人「郊外業務核都市における今後の方向性」, 芝浦工業大学中村広幸研究室講演会, 2014 年 11 月 21 日・佐藤英人, 清水千弘, 唐渡広志「東京大都市圏における集合住宅取得者の住居移動—新築と中古の比較を通じて」, 日本地理学会 2015 年春季学術大会, 2015 年 3 月 28 日 <p>3) 競争的外部研究資金等</p> <ul style="list-style-type: none">・人口減少社会が直面する郊外住宅地の選別化に関する研究, 日本学術振興会 平成 25~27 年度 科学研究費補助金 (基盤研究 C), 課題番号: 25370920, 交付金額: 2,400 千円, 研究代表者 (継続)・家計・企業の多様性に配慮した不動産価格指数の開発, 日本学術振興会 平成 23~25 年度 科学研究費補助金 (基盤研究 B), 課題番号: 23330084, 交付金額: 5,460 千円, 研究分担者 (継続)	

○職務上の成果に関する事項

1) 学外業務

- ・日本地理学会 財務専門委員会 委員 (2008年4月－現在)
- ・日本地理学会 集会専門委員会 委員 (2009年4月－現在)
- ・立命館地理学会 編集委員会 委員 (2013年4月－2015年3月)
- ・日本地域政策学会 編集委員会 委員 (2014年4月－現在)
- ・第1回高校地理教育の在り方に関する勉強会出席 (2014年12月8日)

2) 学内業務

- ・広報委員会委員として定例会議に出席し、大学案内パンフレット、たかけい学報などの出版、大学案内ビデオの制作などに参画した。また、高校から依頼される出前授業の担当者調整、自身も愛知県立豊田南高校へ出講した (2014年10月20日)。オープンキャンパスでは、大学紹介のタイムキーパーを務めるとともに、後日、来学した富山県立水橋高校の2年生に模擬授業を行った (2014年9月3日)。
- ・ラジオ高崎「ラジオゼミナール」に、「少子高齢化とまちづくり」(2014年7月5日放送)、「震災に備えた安心で安全な都市とは？」(2014年7月12日放送)と題して出演した。
- ・FDフォーラム第20回大会@同志社大学今出川キャンパスに出席し、全国の大学で実践されているFD活動の現状に関する情報・意見交換をした (2015年2月28日～2015年3月1日)。

2 その他の事項

特になし

3 次年度以降の計画・抱負

教育上の計画としては、3年生ゼミの開講に伴い学生との地域調査「高崎市における空きオフィスビルの実態調査」を実施する。すでにサブゼミで既存資料の収集やデータ分析に着手しており、4月から具体的な調査を開始する予定である。また、授業改善にも積極的に取り組み、教員－学生間、学生間の双方向教育（集団討論の時間を増やすなど）を実践していきたい。

研究上の計画としては、自身が研究代表者を務めている科研費研究が最終年次を迎えるため、報告書の執筆に取り組むとともに、これまでの研究成果を集成した学術書の出版、『講座－都市地理学』の分担執筆、「女性就業とテレワーク」に関する研究の推進などに注力する予定である。